

# 埼玉県でPVパネルリサイクルを開始

ウム・ヴェルト・ジャパン

## 来年4月から施設を稼働

ウム・ヴェルト・ジャパン（寄居工場・埼玉県寄居町、小柳明雄社長、☎048・577・1153）は埼玉県の彩の国資源循環工場内にある寄居工場で、2021年4月から太陽電池モジュール（PVパネル）のリユース・リサイクル事業を開始する。専用のリサイクル装置を導入して素材ごとの分離を徹底。セルをバックシートから剥離して銀を濃縮し、シートはセメント製造業者等が熱エネルギー代替として利用する。埼玉県や近隣県で排出されるPVパネルを中心に受け入れ、日量5トン未満の範囲で分離・破碎を行う予定だ。受け入れるPVパネルの中にはリユースが可能なものもあると見込まれることから、将来的に販売・提供することを目指し、リユース部門を立ち上げて使用済みPVパネルの検査体制を整備する予定だ。

製造・販売するPVパネルの種類は多様で、回収する素材の価値を高めるためには現時点から組成の見極めなどの研究開発が必須となる。

また、同社によると、埼玉県は戸建住宅のPVパネル設置件数が多いことから、家屋解体業者や電気設備業者などの関連事業者と連携し、効率的で安価にPVパネルを回収する仕組みの構築が必要とされているという。

同社は埼玉県に対し、▽リユースも想定した効率的・効果的な回収スキームの検討、▽社会全体に向けたリサイクル率向上のための情報発信（啓発等）、▽リユース・リサイクル品の需要創出などについて協力依頼——をし、地元と連携した資源循環システムの構築に係る新たな事業を展開する。